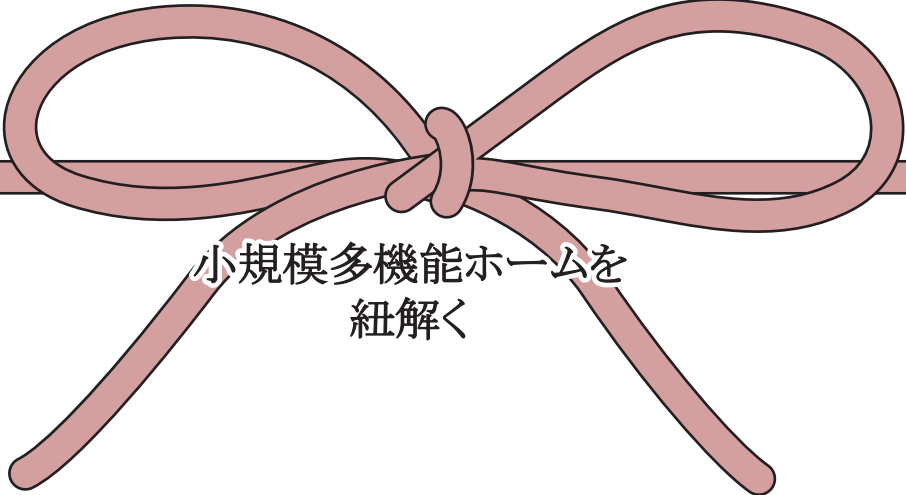


自宅を軸に、介護の必要なお年寄りと家族を地域の中で支援する

# 小規模多機能ホーム 全国セミナー in かごしま

～制度化の課題と展望～



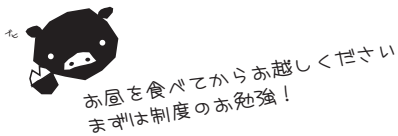
小規模多機能ホームを  
紐解く

鹿児島県文化センター

2006年2月10日(金)－11日(土)



主催:「小規模多機能ホーム全国セミナー in かごしま」実行委員会  
小規模多機能ホーム研究会  
小規模ケアネットワーク鹿児島



## 2月10日(金) 1日目

いよいよ2006年春から施行される「小規模多機能型居宅介護」。気になる介護報酬と基準をじっくり聞いてみよう！

12:30～12:50  
12:50～13:20  
13:20～13:30  
13:30～15:20

開会  
介護保険制度解説「小規模多機能型居宅介護の制度のあらまし」  
★講師  
厚生労働省老健局計画課認知症対策推進室 室長補佐 池田武俊  
休憩  
基調ディスカッション「制度化で小規模多機能ホームはどう進化するのか～小規模多機能ホームのケアと経営を考える～」

★パネラー  
いろ葉(鹿児島県) 代表 中迎聡子  
全国コミュニティライフサポートセンター 理事長 池田昌弘  
東北福祉大学総合福祉学部 教授 高橋誠一  
厚生労働省老健局計画課認知症対策推進室 室長補佐 池田武俊  
★コーディネーター  
神戸学院大学総合リハビリテーション学部 助教授 藤井博志

15:20～15:40  
15:40～16:40

休憩  
小規模多機能ホームの事例を紐解く1  
「介護の必要なお年寄りと家族を、自宅を軸に支えることとは」

★講師  
季刊・痴呆性老人研究 編集長 泉田照雄  
★実践者  
コレクティブ(熊本県) 理事長 川原秀夫

16:40～17:40

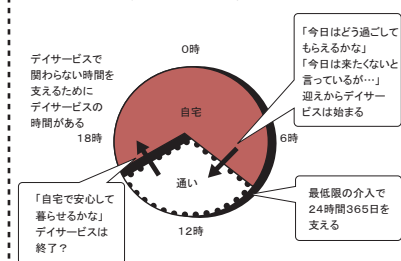
小規模多機能ホームの事例を紐解く2  
「介護の必要なお年寄りと家族を、自宅を軸に支えることとは」

★講師  
東北福祉大学総合福祉学部 教授 高橋誠一  
★実践者  
(調整中)

宅老所から生まれた小規模多機能ホーム。制度化でさらなる進化を！けるチャンスに！

「きほっせ」「あいぞほっせ」「いつでんどこでん」「あーさ」を運営する川原さんの経験豊かなお話に耳を傾けて…

小規模多機能ホーム研究の第一人者  
高橋教授が紐解きます。



会場を移して…

鹿児島のおいしいお酒と食事で身も心も充実タイム！



### ■黒岩尚文

高校卒業時、お金がまったくなくて進路に悩んでいたところ進路指導の先生から「消防士がいい」と言われ喜んで受験。しかし見事不合格。気を取り直し九州一学費の安い福岡大学商学部を受験。まぐれで合格。お好み焼きを4年間焼き続け卒業。都会人と勝負をしたくて焼酎抱えて東京のリゾートマンション販売会社に入社。2か月で標準語が使えないことを見抜かれ福岡支店に異動。1年後、「粋でいなせな不動産屋」を目指し退職、フリーの不動産屋となり東京へ戻る。多くの方々にご飯を食べさせてもらいなんとか生きていたがある朝、突然顔が曲がって(顔面神経麻痺)帰郷。リハビリの甲斐あってか、甲斐もなく1年ほどかかって今の顔に戻り(元々この程度)、1995年4月始良町の在宅ケアセンターさざんか園に開園と同時に就職。翌年5月より宅老所活動を始める。2004年5月さざんか園退職。2004年1月昔からの知人野村氏と小規模多機能ホームよいやんせを開設する。

### ■大熊由紀子

東大教養学科で科学史と科学哲学を専攻。朝日新聞科学部次長を経て1984年論説委員。福祉・医療・科学技術の社説を17年間担当。大阪大学大学院教授を経て2004年から現職。千葉県健康福祉政策担当参与、国立大学法人筑波技術大学理事、佛教大学社会福祉学部客員教授を兼務。ホームページ <http://www.yuki-enishi.com/> / (「大熊由紀子」と検索すると先頭にでてきます) で「物語・介護保険」「優しき挑戦者」を連載中。



### ■坂井明弘

事務所にいながらも、常に現場主義でありたいというジレンマをかかえつつ仕事をしている。そして、介護という仕事に携わって「壁は自分自身だなあ」と改めて感じている。今日もその壁の前に立ち杳然としている自分がいる。そんな自分をいつも振り返りながら現場主義者であり続けたいと七転八倒の毎日です。



## かごしま発！ミニトーク&懇親会 18:40～21:30

「小規模多機能を語る夕べ」  
～私たちが目指すべきものとは…～

★トーカー  
特養・老健・医療施設ユニットケア研究会 代表 武田和典  
よりあい所こころから 平山テル子  
特養・鹿屋長寿園 生活支援課長 林田貴久  
ガーデンハウス慈遊館 準備室長 岡山隆二  
鹿児島県保健福祉部介護国保課 審査育成係長 八田冷子  
★司会  
鹿児島県グループホーム協議会 会長 坂井明弘

本音バカハツだ～

## 2月11日(土) 2日目

9:20～11:00

小規模多機能ホームとともに支える「住み慣れた地域での暮らし」1  
～小規模多機能ホームを地域でどう育てていくのか～

★パネラー  
たすけあい佐賀(佐賀県) 理事長 西田京子  
肝付町福祉課介護保険係 保健師 能勢佳子  
鹿児島県保健福祉部介護国保課 介護指導係長 田島栄治  
鹿児島県社会福祉協議会地域福祉部 副部長 福田正道  
★コメンテーター  
鹿児島女子短期大学生活科学科 教授 久永繁夫  
★コーディネーター  
季刊・痴呆性老人研究 編集長 泉田照雄

11:00～11:20  
11:20～12:40

休憩  
小規模多機能ホームとともに支える「住み慣れた地域での暮らし」2  
～兵庫県宝塚市の場合～

★パネラー  
光明の家 代表 平真弓  
宝塚市社会福祉協議会 事務局次長 佐藤寿一  
宝塚市企画財務部政策室 室長 松藤聖一

★サポーター  
神戸学院大学総合リハビリテーション学部 助教授 藤井博志  
★コーディネーター  
全国社会福祉協議会地域福祉部 部長 渋谷篤男

12:40～13:40  
13:40～15:20

昼食・休憩  
まとめのセッション「地域密着・小規模・多機能の課題と展望」  
★パネラー

よいやんせ(鹿児島県) 代表 黒岩尚文  
コロニー雲仙更生寮援護・生活センター(長崎県) 施設長 松村真美  
鹿児島市健康福祉局健康福祉部介護保険課 課長 熊谷信晴  
鹿児島県保健福祉部介護国保課 課長 川野拓郎  
厚生労働省老健局計画課認知症対策推進室 室長 渡辺由美子  
★コーディネーター  
福祉と医療・現場と政策をつなぐ「えにし」ネット 縁結び係 大熊由紀子

15:20～15:30

閉会

### 【セミナーの趣旨】

小規模多機能ホームは、介護の必要なお年寄りや家族の思いや願いに寄り添い、一人ひとりのお年寄りの暮らしを24時間365日切れ目なく、自宅を軸に小規模多機能ホームの自由な機能を活かして地域での暮らしを支えてきた。この取り組みは、2006年4月の介護保険法改正で、「地域密着型サービス・小規模多機能型居宅介護」として制度化される。

このセミナーでは、2006年1月に発表される予定の介護報酬や基準などの最新制度情報とともに、小規模多機能ホームの今後の課題と方向について、実践者、推進者、研究者、自治体担当者一堂に会して議論を展開する。

### ■中迎聡子

短大卒業後、「生きている」と実感できる仕事を探すために？！仕事を転々とする。1999年8月1日～2002年9月30日 全く未知の世界であり、一番向いていないと思っていた介護の世界へ飛び込む(特養にワーカーとして3年間勤める)。お年寄り一人ひとりのそれまで生きてきた生活や関係を大切にしたい介護を追求したいという思いで一杯になり、その思いが爆発！右も左も分からない介護歴3年、27歳、彼氏なし、思い描いていた「いろ葉」を作ることを決心！  
2003年4月～いろ葉プレオープン  
2003年6月1日 介護保険事業(通所介護)開始  
保険外で泊まりも開始

2005年2月1日いろ葉のさくらオープン(いろ葉で元気がなったお年寄りさんたちの眠っている能力をさらに引き出す場として、スエさんの一言がきっかけでオープン)  
30の太台に乗ってしまい、「若いから」という言い訳は通じなくなってしまったので、苦手な制度等の勉強もしなければと痛切に感じている今日この頃。



2日目は自治体との関係を考えます。制度を育てていくために自治体は小規模多機能ホームをどう捉え、どう協働していったらよいのか？

さらに宝塚市の取り組みから生活圏域での小規模多機能ホームと自治体の関係に迫る！

さあ、2日間のまとめです。制度を生かして、よりよいものに育てるためのあれこれ…ここで元気をもらってまた明日からガンバろう！

### ■川原秀夫

特別養護老人ホームで17年間認知症高齢者とおつきあいをする中で、「痴呆専用棟」を開放し、利用者の生活する環境とケアの質を問い続けたら、宅老所・グループホームにたどり着いた。1999年4月より「グループホームきなっせ」を熊本県小糸川町に開設。NPO法人コレクティブ・いつでんどこでん代表。熊本県宅老所・グループホーム連絡会代表世話人。宅老所・グループホーム全国ネットワーク代表世話人。



### ■武田和典

特養・老健・医療施設ユニットケア研究会代表。元特養シオンの園園長。前施設にて職員が「何とかしなければ。園長には任せておけない」と自分たちで考え行動し、あまり例のない4つの家(ユニット)の集合としての老人ホームの運営をはじめ。実践4年目の1999年秋、福島県郡山市にて第1回の「ユニットケア全国セミナー」を開催し、実行委員長を務める。「その人らしさが入り口で、出口は地域」と言っていたユニットケアを、みるケアからかわるケアへ、そしてつなげるケアへと進化を求めてきた。老人施設の問題を入口として、「何を大切に作る社会をつくるのか」を皆さんと考え、ワクワクするような実践をたくさん作り出しましょうの声がつい大きくなる。



### ■久永繁夫

1947年12月生まれ。1970年より鹿児島県職員、この間福祉事務所等でケースワーカー、老人福祉指導主事。本庁で高齢者対策課主幹、障害福祉課課長補佐を務める。1998年より現在の鹿児島女子短期大学教授に。最近の研究テーマは、介護保険制度下の老人福祉。主な活動としては、日本介護福祉学会理事、鹿児島県国民健康保険団体連合会苦情処理委員会委員長、同介護報酬審査会委員長など。



参加定員 800人

参加費 10,500円(当日資料代1,000円含む)

ミニトーク&懇親会 7,000円

地図



①	城山観光ホテル(交流会会場)	224-2211
②	鹿児島東急イン	256-0109
③	鹿児島ワシントンホテルプラザ	225-6111
④	ホテル・レクストン鹿児島	222-0505
⑤	ブルーウェーブイン鹿児島	224-3211
⑥	ホテル法華クラブ鹿児島	223-0551
⑦	鹿児島アーバンポートホテル	239-4111
⑧	ホテルタイセイアネックス	257-1111
⑨	サンデイズイン鹿児島	227-5151
⑩	エースイン鹿児島	223-3933
⑪	ホテル吹上荘	224-3500

申し込みに関するお問い合わせ先

アローツーリスト株式会社

〒892-0817 鹿児島県鹿児島市小川町1-1

TEL 099(226)6000 FAX 099(226)7031

担当: 増永・山下

営業日・営業時間 09:00~18:00(土曜・日曜・祝祭日を除く)

内容に関するお問い合わせ先

小規模多機能ホーム全国セミナーin かごしま実行委員会事務局

〒981-0954 宮城県仙台市青葉区川平5-3-18-207(CLC 東日本内)

TEL 022(719)9240 FAX 022(719)9251

担当: 山越・國分